平成30年度

環境活動レポート

平成30年4月1日～平成31年3月31日

～環境と経済の両立～

Ecology&Economy

山形パナソニック株式会社　エコアクション21

エコアクション21
認証番号0011184

発行日：令和元年6月1日

山形パナソニック株式会社
〒990-2401　山形県山形市平清水1丁目1番75号
TEL:023-622-5402　FAX023-625-7443
URL：http://www.y-panasonic.co.jp/

～目次～

1. 環境経営方針 P1

EA21活動に伴うSDGSアソシエーション

2. 組織の概要 P3

2-1. 事業所名及び代表者名

2-2. 所在地と連絡先

2-3. 事業の概要

2-4. 事業の規模

2-5. 対象範囲と対象取組期間

3. 環境目標と実績 P5

3-1. 中長期環境目標

3-2. 単年度目標・実績

3-3. 評価と分析

4. 環境活動計画と取組み結果 P9

4-1.環境活動計画と取組み結果

4-2.環境活動の取組み事例

5. 次年度の取組み内容

6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟の有無 P13

7. 代表者による全体評価と見直しの結果 P14

7-1. 環境経営システムの有効性と評価

7-2. 環境経営システム変更の必要性

7-3. 次年度以降の取組みの方向性

山形パナソニック株式会社　エコアクション21
環　境　経　営　方　針

エコアクション21
®環境省
認証番号0011184

～環境と経済の両立～

Ecology&Economy

◆創エネ・蓄エネ・省エネ機器の普及拡大による
　豊かな暮らしの創造とサスティナブルな社会づくりに貢献

◆自社における環境負荷、コストの徹底低減への取組み

◆環境関連法規等の遵守

エコアクション21活動に伴うSDGsアソシエーション

GOAL3：あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

【取組例】化学物質の適正管理、大気汚染の防止（建築物の環境負荷低減、敷地外環境）への取組み。

GOAL6：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続的な管理を確保する

【取組例】水使用量の削減・効率化、水道配管からの漏水を定期的に点検の実施。

GOAL7：全ての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

【取組例】エネルギー使用量（購入電力、化石燃料）を把握・報告し削減への取組み。事務所の照明は不在時、昼休み等は消灯。
ウォームビズ・クールビズの採用。LED等の省エネ機器の導入。
太陽光発電設備・地中熱利用設備の導入。ハイブリッド車や低燃費車の導入。

GOAL11：包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続的な都市および人間住居を再現する

【取組例】廃棄物の削減、適正処理。廃棄物リサイクル（紙・あき缶・ガラスびん・電池等の分別）の徹底。

GOAL12：持続可能な生産消費形態を確保する

【取組例】省資源への取組み。（会議資料のペーパーレス化、使用済み用紙の裏紙利用）
環境配慮に繋がる創エネ・蓄エネ・省エネ機器等の製品・サービスの提供。

GOAL13：気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

【取組例】特定フロンの回収・適正処理の実施。CO2排出量の把握・環境負荷の削減への取組み。食品ロス削減30・10運動の実施。敷地内の緑化。

GOAL15：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進

【取組例】事業所周辺の環境の保全活動を通じ、事業活動を行う地域環境配慮への取組み。

2.組織の概要

2-1.事業所名及び代表者名

■山形パナソニック株式会社

■代表取締役社長　清野　寿啓（セイノ　トシヒロ）

2-2.所在地と連絡先（担当者）

■住　所：〒990-2401　山形県山形市平清水一丁目1番75号

連絡先：TEL023-622-5402　FAX023-625-7443　Email：info@y-panasonic.co.jp

■担当者：環境管理責任者　稲毛　健一

事務局：経営企画室　鈴木優子

2-3.事業の概要

■家庭電化製品、太陽光発電システム、オール電化システム、情報通信機器、放送設備、映像機器、音響機器、教育機器、防災機器、事務機器、産業用電気機械器具、食品生産加工機器、自転車、自動車機器及び付属品、照明器具、電気工事器具及び電線ケーブル、昇降設備、空調機器、換気送風機器、住宅設備機器、ガス・石油厨房機器、建設付帯資材、インテリア商品、エクステリア商品、医療・保健・衛生用機械器具の卸売ならびにこれに付帯する設計・施工及びメンテナンス業務

■建築一式工事、電気工事、管工事、機械器具設置工事、電気通信工事及び消防施設工事に関する請負ならびにこれに付帯する設計・工事管理業務・施工業務、電気機器、介護機器等の居宅介護支援業務

事業所登録
山形県知事許可　（2611）第2901号

建築士
山形パナソニック二級建築士事務所

建設業許可番号

特定建設業　電気通信工事業
山形県知事許可（特-27）第100670号

特定建設業　電気工事業
山形県知事許可（特-27）第100670号

特定建設業　管工事業
山形県知事許可（特-30）第100670号

一般建設業　建築工事業
山形県知事許可（般-27）第100670号

一般建設業　内装仕上工事業
山形県知事許可（般-27）第100670号

一般建設業　屋根工事業
山形県知事許可（般-27）第100670号

一般建設業　機械器具設置工事業
山形県知事許可（般-27）第100670号

一般建設業　消防施設工事業
山形県知事許可（般-27）第100670号

一般建設業　タイル・れんが・ブロック工事業
山形県知事許可（般-30）第100670号

2-4.事業の規模

■設　立：昭和27年3月

■売上高と社員数（事業年度：4月１日～3月31日）

事業年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高（百万円）	17，877	17，877	18，526
全従業員数（人）	299	297	307
本社従業員数（人）	243	245	246

（各年3月31日時点）

■営業所：庄内営業所　酒田市卸町2−5
米沢営業所　米沢市金池8−3−13
新庄営業所　新庄市小田島町5−40
鶴岡営業所　鶴岡市睦町6−14

2-5.対象範囲と対象取組期間

■認証・登録範囲

山形パナソニック株式会社　本社、営業所ならびに建設現場

※営業所については、令和元年8月以降、全営業所を対象とした活動を開始し
次回、更新審査（令和2年3月頃）では全組織を対象としていきます。

■環境活動レポートの対象取組期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

※会計年度（4月～3月）に合わせ、毎年6月に発行していきます。

3.環境目標と実績

3-1.中長期環境目標

環境目標項目	中長期目標（3年）		
	平成30年度目標	令和元年度目標	令和2年度目標
①自社環境負荷CO_2排出量（電気、ガソリン使用量等）	平成29年度比 1%削減	平成30年度比 1%削減	令和元年度比 1%削減
②環境関連機器の普及拡大に伴うCO_2排出量の削減	3,278t−CO_2	平成30年度比 1%増	令和元年度比 1%増
③廃棄物排出量	〃	〃	〃
④総排水量	〃	〃	〃

3-2.単年度目標と実績

①自社環境負荷CO2排出量（電気、ガソリン使用量等）

※電気のCO2排出係数については、0.523kg-CO2/kWh(平成29年度東北電力)を使用しました。

自社のエネルギー使用量の削減がCO_2削減につながります 省エネ

環境目標　項目		H30 目標（平成29年度比 1%減）	H30 実績
	電気	461,087kWh	471,859kWh ↑
	ガソリン	192,913ℓ	178,324ℓ ↓
	軽油	15,045ℓ	12,795ℓ ↓
	灯油	2,635ℓ	2,216ℓ ↓
	プロパンガス	70㎥	0㎥ ↓
CO_2排出量（t-CO_2）		749t-CO_2	699t-CO_2 ↓
一般廃棄物排出量		37,670kg	45,509kg ↑
産業廃棄物排出量		40,134kg	53,540kg ↑
総排水量		2,408㎥	3,078㎥ ↑

CO_2 排出量 down

4

②環境関連機器の普及拡大に伴うCO2排出量の削減

当社で取扱う創エネ・蓄エネ・省エネ機器の販売台数に伴い、ご購入いただいたお客様の元でのCO2削減を目標として設定しております。
今年度はPanasonicを代表する環境商品をピックアップいたしました。

環境目標（環境関連機器の普及拡大に伴うCO2排出量削減）
購入していただいたお客様の先でのCO2削減につながります

Panasonic 省エネ "使うだけで節電" 進化するエコナビ搭載家電

環境関連機器	H30 目標 販売台数（台）	H30 目標 CO2排出量削減（台あたりのCO2削減量×台数）(t-CO2)	H30 実績 販売台数（台）	H30 実績 CO2排出量削減（台あたりのCO2削減量×台数）(t-CO2)	
テレビ（40インチ以上）	5,000	208	5,537	230	↑
エアコン（家庭用）	10,000	370	13,161	487	↑
冷蔵庫（400L以上）	5,000	540	4,843	523	↓
LED照明器具	4,000	820	50,314	10,314	↑
太陽光発電システム	65 ・住宅60 ・産業5	202 ・住宅162 ・産業40	44 ・住宅43 ・産業1	124 ・住宅116 ・産業8	↓
エコキュート	450	1,098	526	1,283	↑
合計		3,238	CO2削減大幅UP	12,961	↑

CO2算出根拠は別紙資料をご覧ください

「12,961t-CO2削減量は スギの木何本分？」

お客様の元で削減いただいたCO2排出量をスギの木（樹齢80年）の年間吸収量で換算します。

12,961,000kg-CO2※1 ÷ 14kg-CO2 ※2＝925,785本≒92.6万本

※1・・・単位をt-CO2からkg-CO2に変換

※2・・・スギの木（樹齢80年）は1本あたり１年間で14kg-CO2のCO2を吸収するといわれています。出典：林野庁HP

CO2排出量の削減
スギの木
約92.6万本

森林の面積（1haあたり1000本）で換算すると・・
東京ドーム（4.7ha）
197個分

3

※別紙資料
環境関連機器の普及拡大に伴うCO2排出量削減算出根拠一覧

環境関連機器	算出根拠
テレビ	【平均削減電力量】100kWh/年　　※同等クラス（経過年数10年）への買換が販売台数の8割と想定 【台あたりCO2削減量】52kg-co2（「環境省　省エネ製品買換ナビシステム」より算出）
エアコン	【平均削減電力量】71kWh/年　　※冷房能力2.8kW（経過年数10年）から同能力最新機種への買換想定 【台あたりCO2削減量】37kg-co2（「環境省　省エネ製品買換ナビシステム」より算出）
冷蔵庫	【平均削減電力量】240kWh/年　　※400L（経過年数10年）から500Lへの買換が販売台数の9割と想定 【台あたりCO2削減量】120kg-co2（「環境省　省エネ製品買換ナビシステム」より算出）
LED照明	【平均削減電力量】374kWh/年(当社調べ） 【台あたりCO2削減量】374kWh/年×0.548kg-co2/kWh=205kg-co2
太陽光発電システム	【住宅用】平均5.0kW　年間予想発電量　5,000kwh　【産業用】平均15kW　年間予想発電量　15,000kWh 【台あたりCO2削減量】　住宅：5,000kWh×0.5415kg-co2/kwh　（ﾊﾟﾅ指標）=2,700kg-co2 産業：15,000kWh×0.5415kg-co2/kwh（　〃　）=8,122kg-co2
エコキュート	【平均削減電力量】電気温水器5,823kwh/年-エコキュート1,370kwh/年＝4,453kwh/年 【台あたりCO2削減量】4,453kwh×0.548kg-co2/kwh=2,440kg-co2/kwh

3-3.環境目標の評価と分析

1） 購入電力量

目標に対し10,772kwhの増大で目標クリアとはなりませんでした。
要因としては、7～9月までの平均気温が29.4℃という猛暑が続き特に8月が前年に比べ大きく上回ってしまった。
然しながら、室内での熱中症の危険性や効率の低下も考慮すべきことである為、空調設備の工夫（サーキュレーターの使用など）が必要である。
また、委員会からは消し忘れやムダな使い方がないか改めて注意喚起が必要との意見が出されました。

2） ガソリン・軽油

目標に対しガソリンは－14,589ℓ、軽油は－2,250ℓの削減で目標をクリア。
年度前半は、走行距離数の増加や猛暑によるエアコン使用で増大傾向にあったが、ハイブリッド・エコカー車への入替、直行直帰などの増加もありトータルすると削減傾向となった。

3）灯油

目標に対し－419ℓの削減で目標をクリア。
要因としては、例年に比べ暖冬傾向にあった為と考えられます。然しながら各フロアで石油暖房機器の使用状況の管理の必要。

4）廃棄物

目標に対し一般7,839kg、産業13,406kgの増大で目標クリアとはなりませんでした。
要因としては、年度初めに倉庫の一斉清掃の実施が挙げられますが、職場環境の整理整頓は最重要課題です。今後も販促物等の発注についても検討しながら削減に努める事が重要です。

5）水使用量

目標に対し670㎥増大で目標クリアとはなりませんでした。
要因としては、10月に敷地内での水道管漏水が発生した為と考えられます。
その後、補修が完了しましたが使用量の増減の注視が必要。

4.環境活動計画と取組み結果

4-1.環境活動計画と取組み結果

○＝実施　△＝実施したがもう少し　×＝未実施

活動・取組項目		活動の具体的内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	消費電力	室温は、暖房期22℃、冷房期27℃で管理する	△
		定期的なエアコンフィルターの清掃	○
		定時退社の推進 （業務改革プロジェクト“社員まるっとゆう活デー”水・金）	○
		こまめな消灯の推進（不在時や昼時間）	○
	ガソリン・軽油使用	エコドライブ教室の実施	○
		エコドライブの実践	○
		直行直帰制度の推進	○
		効率的な巡回の推進	○
廃棄物排出量の削減と適正管理	排出量の削減・リサイクルの推進	**「～山形市食品ロス削減取組～30・10運動」の啓蒙**	△
		“AKARIアクション古本募金”の実施	○
		紙ごみリサイクル	△
	適正管理	**分別ルールの再徹底 「ECO＆COST委員会　分別パトロール」の実施**	○
		廃棄物置場のリニューアル	△
環境関連機器の普及拡大		**普及拡大キャンペーン・展示会の実施 省エネ補助金を活用した設備改修のご提案**	○

環境関連機器の普及拡大に伴うCO2排出量の削減

①「省エネ機器普及拡大、展示会の実施」

春と秋の展示会や様々なイベントを通じ省エネ機器の普及拡大に努めております。特に省エネ機器への買い替えは、消費電力の削減に伴うCO2排出量の削減が大いに期待できます。そのため、当社はお客様が家電製品を上手に選びご使用いただけることをご提案し販売促進に励んでおります。

【展示会の様子】

②「省エネ補助金活用による設備機器改修の提案」

当社は、エネマネ事業者（平成30年度）登録企業です。国の補助金を活用し、設備更新による省エネルギー化やEMS（エネルギーマネジメント）の導入による運用改善を図り、地球環境にやさしい省エネルギーをご提案しております。

【販促パンフレット】

リサイクルの推進で社会貢献

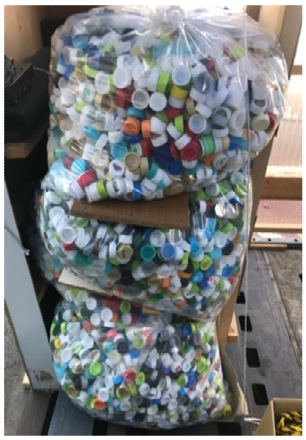
①「Panasonic“AKARIアクション”古本募金」

古本等の寄付による募金を通じて無電化地域へソーラーランタンを寄贈する活動に
参加 しております。第1回目は、古本135冊の寄付が集まりPanasonicを通じて
ソーラー充電式のランタン寄贈に役立てていただきました。
電気の無い暮らしを送る発展途上国人々の心に“AKARI”が届きますように、
と想いを込めて今後も活動を続けて参ります。

【社内案内、実績報告】

②「エコキャップ回収」

会社で回収したエコキャップをまとめてエコキャップ推進協会へお送りしております。
エコキャップ1kgを焼却するとCO2が約3,150g発生します。
今年度の回収した重量60kgのエコキャップは再生プラスチックの原料となり、
今回は189kg-CO2を削減したことになります。



【キャップ回収の様子
エコキャップ受領書】

廃棄物排出量の削減

日本全国で社会問題に！

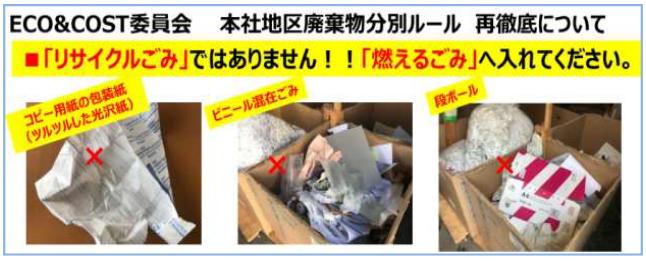
「山形市食品ロス削減取組み　30･10運動」の啓蒙

宴会やイベント等での食べ残しを減らす運動を実践！
コースターや幹事の方への声掛けセリフ集の配布で、
食べ残しの「もったいない」を心掛け食品ロス削減に
取組んでおります。

【啓蒙コースター、案内チラシ】

廃棄物の適正管理の徹底

「混ぜればゴミ！分ければ資源！！」
分別により資源の有効活用及び分別の徹底でコスト削減化に取り組んでおります。
従来より取組み強化をしているゴミの分別。定期的なルールの徹底のため委員会メンバーがゴミ収集時に見回りを実施。
分別の指導はもちろん朝の挨拶や
集積場の掃除も頑張りました！



【社内啓蒙、パトロールの様子】

その他の環境活動

「地域貢献活動」（山形エコアクション21対象活動）
当社では、出社後、朝の30分、地域貢献活動の一環として社屋周辺（平清水歩道橋）の植え込み、縁石の雑草除去、清掃活動を実施しております。
道路を利用するたくさんの方々が気持ちよく利用していただけるよう心掛け活動に参加しております。

【清掃活動の様子、案内図】

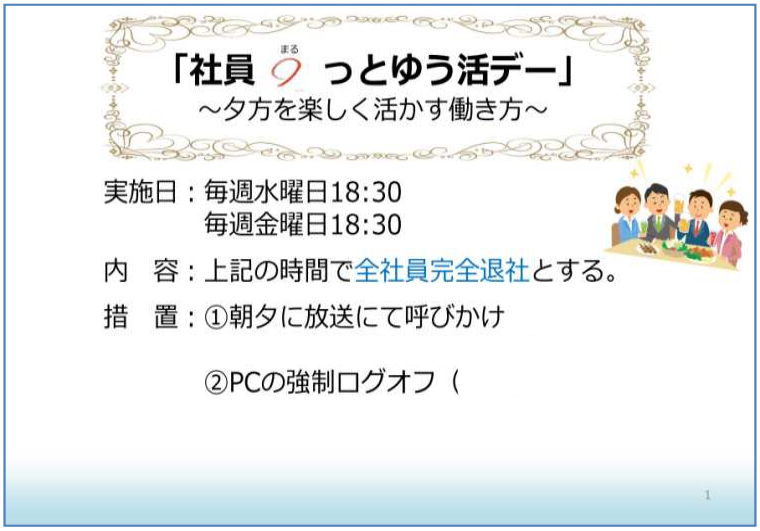
消費電力の削減

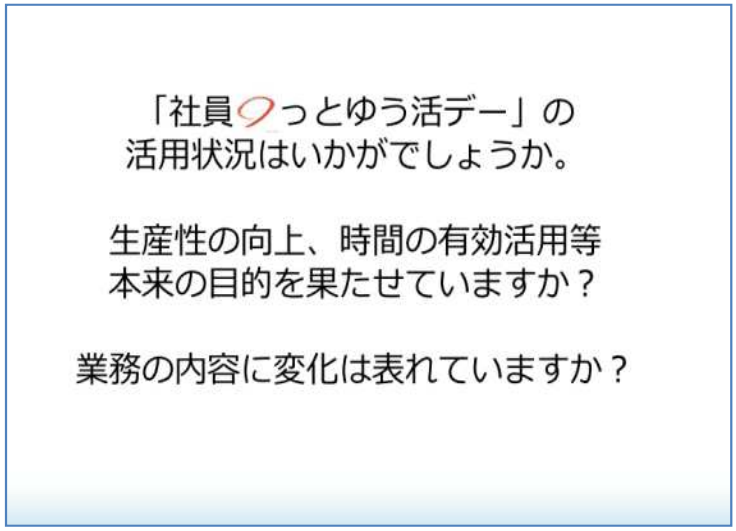
「定時退社の推進で残業も電気もカット！！」

当社は2014年より「Switch+プロジェクト」という活動で働き方変革に取り組んでおります。
様々な取組みのひとつが「業務改革分科会“社員まるっとゆう活デー”」です。
毎週、水曜日と金曜日の朝は、この社内アナウンスで1日がスタートします。

「みなさん！本日は社員まるっとゆう活デーです。
効率良く業務を進め18:30までに退社しましょう♪」

こちらの取組みが定着し、ひとりひとりの意識も向上。退社時間が早まることで残業の削減や電力の使用量も省エネが実現できるよう取り組んでおります。





【社内案内資料】

5.次年度以降の取組みの見直しや方向性

・自社の環境負荷・コストのチェック、検証を定例化し、社内にて共有。
　特にコストカットに関する課題解決。
・環境目標（省エネ関連機器の販売台数設定、商品項目）の見直し、検討。
・建設業関連部門と安全担当者を含めた活動の検討

6.環境関連法規等の遵守状況、訴訟の有無

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物を排出する場合：委託基準、委託契約書、マニフェスト交付・返却確認・交付状況報告。 特別産業廃棄物の分別管理と届け 水銀使用製品産業廃棄物の取扱の適正処理	○
浄化槽法	年１回水質検査を受ける。年１回保守点検・清掃を実施し、その記録を保存する	○
オフロード法	特定特殊自動車（フォークリフト・ホイールローダ）の基準適合	○
水質汚濁防止法	灯油漏れ等の事故に際して応急処置と速やかな届出	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンなどのフロン類の適正な回収と措置	○
家電リサイクル法	特定家電を廃棄する場合：リサイクル料金の支払い。家電マニフェストの写しの交付を受ける	○
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器の適正な排出	○
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合：リサイクル費用の負担。登録業者に引き渡す。引取証明書を受け取る	○
建設リサイクル法	発注者への計画等説明、７日前までの届け出、発注者への書面による完了届	○
容器包装リサイクル法	びん・缶・ペットボトルなど分別基準に基づき容器包装廃棄物を適正に処理する	○
廃PCB特措法	撤去・保管などの届け出	○
建築基準法	内装仕上げ・換気設備及び天井裏などの工事の際に各規制遵守する	○
消防法	危険物の流出その他の事故発生時の通報	○
山形市町村火災予防条例	少量危険物貯蔵所の届出	○
高圧ガス保安法	危険時の措置と届出	○

平成31年４月１日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが
違反項目は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導はありませんでした。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の取組みが4年目となる今年度は「創エネ・蓄エネ・省エネの普及拡大におけるCO_2排出量の削減」について数値目標を設定いたしました。
その結果、経営活動の大きな柱でもある「環境関連機器の普及拡大」が地域社会の環境保全に有効的な結果をもたらすという事を確信いたしました。
環境経営方針「Ecology&Economy～環境と経済の両立～」が示す意味を改めて理解し社員全員が視野を広げ様々な活動を展開していく事を大いに期待します。

一方、取組み課題となっていたエネルギー使用量とコスト管理の分析に不足を感じます。
特に、購入電力は突出したデマンド値がコスト面に大きく影響することから、定期的な分析に基づいた使用量削減の強化を望みます。

また、令和元年５月CS・エンジニアリング事業部が品質マネジメント規格「ISO9001：2015」の認証を取得いたしました。設計・施工・保守点検・修理等の様々なサービスの中で「環境配慮」も組み込んだ活動サイクルを機能させていくことが必要です。

7-1.環境経営システムの有効性の評価

今回より当社の経営活動による環境関連機器の普及拡大に伴うCO_2排出量の削減に取組んだ。今後さらに環境への貢献を意識した日常の販売活動を社員に期待します。
自社の環境負荷に関する項目と実績については対策に不足があり定期的な各項目の実績の発信が少なかった。エコ＆コストバスター委員会の活動とその発信、役員会での活動内容共有、社員への徹底を図ることで更に環境経営システムが定着し有効になると考えます。

7-2.環境経営システム変更の必要性

環境経営方針

→ 年度内に内容、掲示物デザインをリニューアル。関連性のあるSDGsゴール目標と取組み事例も追記。（掲示は来年度から）

環境経営目標、活動計画、環境経営システム

→ 本年度末まではこのまま継続とします。

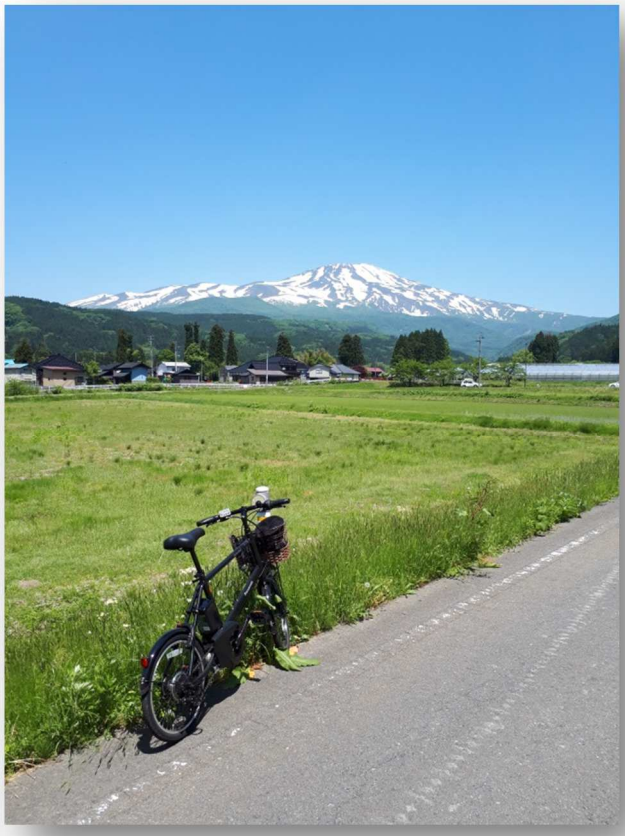
7-3.次年度以降の取組みの方向性

当社は、エコアクション21導入時から「豊かな暮らしの創造と持続可能な社会づくりに貢献」という方針を掲げてまいりました。
これらは、今、まさに急速に関心が高まっているSDGsの考え方に通じるものがあると感じます。環境省が作成した活用ガイドを元に環境保全と関係の深いゴールを当社の取組み事例と関連付け「自社だからできる」取組みを更に発展させていくことを期待します。

また、昨今自動車業界では、ガソリンから電気へのシフトにしのぎを削っております。そのような中、当社で注力している「電動アシスト自転車」は人々の健康増進はもちろんのこと環境保全においても有効な役割を担う商品です。
今年度、認定を受けた「健康経営優良法人2019」の理念も含め、環境と健康の両面を活動に組み込んだ展開を期待します。

更に、活動内容や環境レポートのHPへの掲載で積極的な外部へのPR活動を期待しております。

私たちは、これからも
自然環境の保全とCO2削減に取組み
サスティナブルな社会づくり
貢献してまいります



【～パナソニック電動アシスト自転車～
雄大な最上川と鳥海山をバックに】